

さあ、新しいインターフェイスの可能性を開け
世界の歯学をリードする独自の教育カリキュラムで口腔健康科学を学ぶ



東北大学歯学部

Tohoku University School of Dentistry



2024



TOHOKU
UNIVERSITY

始めよう、君たちのグロー



Welcome 「杜の都・仙台」の魅力 SENDAI

東北大学が位置する「杜の都・仙台」は、緑豊かな街並みに東北唯一の政令指定都市としての都市機能が充実しています。また、ちょっと足を延ばせば、豊かな自然にふれられるのも魅力です。

FOOTWORK 交通

高速バス、新幹線、飛行機の便利なアクセス

仙台は高速バス（東京から約6時間・約4,000円～）、新幹線（東京から約1時間半・約11,000円）など、高速交通網に恵まれています。



CORE-TOWN タウン散策

仙台のショッピング&タウン散策には、一番町界隈がおススメ。牛タン、冷やし中華（仙台が発祥の地）、ずんだなどの仙台グルメも要チェック。



(公財)仙台観光国際協会

HISTORY 歴史

広瀬川の清流と緑に恵まれた仙台は、約400年前に伊達政宗がつくりあげた62万石の城下町。伊達藩の遺産である仙台城址、瑞鳳殿、輪王寺などが点在しています。



CULTURE 市民文化

仙台は「学都」の誇り高く、文化が薫る都市として、美術館や博物館の文化施設が充実。中でも、文化交流のステージ「せんだいメディアテーク」の活動ぶりは注目もの。世界的な音楽コンクールの開催はもとより、交流イベント、展覧会など、市民の文化活動が盛んです。



バルインターフェイスの未来を。

口(くち)とは何か、考えたことはありますか？



東北大学
歯学部長

小坂
健

口の機能とは何でしょう？ もちろん、呼吸をする、飲食をするといった生命の維持に直接関することから、例えば吹奏楽の楽器を演奏するといったこともあるかもしれませんし、歌を歌うといったこともあるでしょう。そして社会の中で生きるために必要なのがコミュニケーションです。

そういった非常に大事な役割のある口腔を様々な切り口で研究や臨床を通じて世の中に貢献しようとしています。

私たちは、このような口腔の役割を再認識し、歯学の新しいコンセプト「インターフェイス口腔健康科学 (IOHS: Interface Oral Health Science)」を提示してきました。IOHSでは、口を3つのシステム、すなわち、口を形作る私たちの組織(歯、口腔粘膜、筋、骨など)、そこに生息する膨大な数の微生物(口腔マイクロバイーム)、そして歯科治療に欠かせない歯科生体材料から成るものとし、そこに咬合力などの複雑な力が加わる一種の「生態系」と捉えています。う蝕や歯周病などの口腔疾患の多くはこれらシステム同士が接する「インターフェイス」で生じており、これらのインターフェイスを健全に保つことが口腔疾患を予防し、口腔機能の維持・向上に繋がります。さらに、口腔そのものが外界とのインターフェイスであり、社会で生きるために他人とコミュニケーションを取っています。そして、これらの口腔機能が健全であることが、我々のウェルビーイングにとって欠かせないものです。

歯学研究科は歯学部設立の7年後、1972年に設置され、指定国立大学・東北大学にある歯学研究科として、「研究第一」「門戸開放」「実学尊重」という東北大学の理念に基づき、教育研究に力を注いできました。2002年にIOHSという新コンセプトを提示し、歯学研究の進むべき方向性を明示して以来、様々な取り組みを行っており、2020年度から新たに始めた「革新的食学」はその代表例です。これらの事業は歯学研究科単独ではなく、東北大学金属材料研究所、同医工学研究科、同工学研究科、同農学研究科等、さらには他大学との連携で行われており、「異分野融合・異分野連携研究」の先駆けとして「研究第一」の理念を実現してきました。これら事業の機動的推進を目的に、研究科には「歯学イノベーションリサーチセンター」があり、各研究室と海外、企業、行政とを繋ぎ、研究の海外展開や医療機器開発を通じた研究の社会還元(社会実装)を強力に進めています。2004年には歯科医療、口腔保健の裾野の拡大と歯学教育研究の「門戸開放」を目的に、日本で唯一の歯学研究科修士課程を開設し、コデンタル、コメディカルから工学、栄養学、保健福祉・医療行政等、幅広い専門領域、多彩なキャリアの方々が本研究科で学んできました。2020年度からは定員を増やすとともに博士課程との接続と連携を強化し、歯学研究の拡大を目指しています。

研究科の国際力も高く、歯学教育研究のアジア拠点として、世界有数の歯学拠点校との国際連携による教育研究を実践しています。なかでも北京大学、四川大学、ソウル大学等とは、2012年よりアジア・スタンダードの歯学教育・歯科医療の確立を念頭にダブルディグリー・プログラム(2つの大学から学位授与)を行っており、大学院生の約1/4は留学生です。2021年には、これまでの国際展開の実績から、歯学系で唯一、文部科学省「大学の世界展開力強化事業(キャンパスアジア・プラス)」に採択され、アジアの基幹大学との共同教育が格段に広がりました。国籍に関係なく、同じ歯学を志す学生として切磋琢磨する環境が日常となることは、今後、グローバル社会での活躍を期待される若い学生諸君にとって大きな魅力だと思います。

東北大学は、東京帝国大学、京都帝国大学に次いで日本で3番目に設置された旧帝国大学を前身とし、現在はこれらの旧帝国大学とともに指定国立大学となった総合大学です。Times Higher Educationの評価では国内で第一位の評価を受けております。多くの学術的資産と優秀な人材に恵まれ、世界に誇る業績を創出し続けており、日本の将来の礎(いしづえ)となるように努力しています。

FESTIVAL 祭り

目次

CONTENTS

学部長あいさつ	→ 03
古くから続く日本の歯科医療、今世界が注目する最先端の歯学を学び、口腔科学者・歯科医師を育成します。	→ 04
インターフェイス口腔健康科学とは、何か。	→ 06
歯学部のカリキュラム	→ 07
1、2、3年次のカリキュラム	→ 08
4、5年次のカリキュラム	→ 09
5、6年次のカリキュラム	→ 10
東北大学病院	→ 11
Campus Life ー歯学部生のキャンパスライフー	→ 12
卒業生座談会	→ 14



古くから続く日本の歯科医療、 今世界が注目する 最先端の歯学を学び、 口腔科学者・歯科医師を 育成します。

東北大学歯学部で求める人物 (アドミッションポリシー)

歯学部の教育目標は、単に歯科医師の養成にとどまらず、論理的な思考力を身につけ、各分野で指導的立場となる人材を育成することにある。歯科医学の知識や技能を十分に修得できる基礎学力を有する人、問

題解決や知識追求に対する意欲を持ち常に前向きに考え行動する資質を有する人、幅広い視野と柔軟な感性を有する人、医療に携わるものとして豊かな人間性を備えた人を求めている。



世界と日本の歯学の歴史

18世紀、ヨーロッパで“近代歯科医学の父祖”といわれるピエール・フォーシャルによって総入れ歯や歯石除去などの近代的な歯科治療が行われ、19世紀に入るとアメリカではほぼ現代に近い歯科医療が始まったといわれます。ちなみに、アメリカにはジョージ・ワシントンの義歯が残さ

れていますが、日本では、それより古い16世紀後半につくられた木床義歯が、発見された最古の義歯として残されています。それを見る限り、日本の歯科医療技術が高い水準にあったことがうかがわれます。

1854年に日米和親条約が結ばれ、下田、函館が開港されるとともに外国人が渡来するようになりました。1860年には、アメリカ人ウィリアム・クラーク・イーストレイキーが横浜で歯科医院を開業。アメリカの歯科医

師を通じて、欧米の近代的歯科医療に直接触れることができるようになりました。

そして1800年代末から1900年代初めにかけて、日本でも歯科医学校が設立され、歯科医師法が整備され、歯科医学会、歯科医師会が発足し、歯学が確立されたのです。黎明期、野口英世は高山歯科学院で給仕をしながら学び、後には講師となって講義を行ったというエピソードも残っています。

1965年、 東北大学歯学部発足

このような流れの中では、1965年に発足した東北大学歯学部の歴史は比較的新しいものです。しかし、その誕生、発展は「一口腔一単位」、「全人的歯科医療」の理念のもと、独自の

ものでした。この理念を診療体系に持ち込むとなると、様々な専門的視点からの診断・治療方針を総合的に取捨選択しなければなりません。欧米には、例えば「I have four dentists」という言葉があります。歯科の専門化が進み、「4」は「プライマリーケア（口腔ケア）」「口腔外科」「補綴（歯の修復）」「エンドデンティスト（神経の

処置）」それぞれの専門歯科医を指しています。つまり、歯学とは、様々な視点から顎口腔領域の健康と疾患を理解し、生体全体の中に位置づけ、その予防、診断、治療の方法を開発し、健康を維持増進させる学問なのです。東北大学歯学部の卒業生は、考える歯科医となり、最善の診療・研究・教育に日夜邁進しています。

参考

歯学の歴史と東北大学歯学部の歴史を詳しく知るには……

▶「歯の歴史館」(1981年 日本医療文化センター発行) ▶日本歯科医師学会ホームページ <http://www.jsdh.org/>
▶東北大学歯学部同窓会ホームページ <https://www.tohoku-dent-alum.jp/>

近代歯科医学と日本の歯科医学の歩み

- 1723 フランスで、ピエール・フォーシャル(近代歯科医学の父祖といわれる)が論文『Le Chirurgien Dentist』発表
- 1728 フォーシャル、上顎総入れ歯を製作
- 1840 アメリカに、世界最初の近代的な歯科医学校ボルチモア歯科医学校誕生
- 1844 アメリカで、笑気を用いた全身麻酔下での抜歯を施行
- 1846 アメリカで、エーテル麻酔を用いて口腔外科手術を施行
- 1860 アメリカ人ウィリアム・クラーク・イーストレイキー、横浜で歯科医院を開業
アメリカの歯科医療に直接触れることができるようになった
- 1876 瑞穂屋、わが国で初めて歯科器材をアメリカから輸入
国内でも、歯科器械の生産始まる
- 1878 1872年に私費留学した高山紀斎、アメリカで歯科医師開業試験に合格し、帰国
- 1881 高山紀斎、わが国最初の歯科専門書『保歯新論』発行
- 1883 医術開業試験規則が制定され、歯科が専門科目に
アメリカのミラー、「化学細菌説」を発表
- 1888 日本最初の歯科医学校である東京歯科医学校設立(翌年閉校)
- 1890 高山歯科医学院創立(1900年に東京歯科医学院に改称、1946年に東京歯科大学に改組)
- 1891 アメリカのブラック、歯垢がむし歯の原因であることを発見
- 1893 歯科医会発足(1926年、日本歯科医師会と改称)
- 1902 日本歯科医学会発足
- 1903 東京帝国大学医学部に歯科学教室開設
- 1906 歯科医師法成立
- 1911 歯科医学専門学校設立
- 1916 歯科医師法改正、医師の歯科医療行為を制限
- 1928 「ムシ歯予防デー」実施
東京高等歯科医学校(現、東京医科歯科大学)設立
国の歯科医師養成教育のスタート
- 1946 GHQの指示のもと歯科教育審議会発足
- 1947 歯科医師国家試験実施
- 1948 「歯科教育基準案」決定

歯学部・歯学研究科の歩み

- 1965 東北大学歯学部開設:「考える歯科医師の育成」「一口腔一単位」「全人的歯科医療」の理念提唱
- 1967 東北大学歯学部附属病院開院
- 1972 東北大学歯学研究科開設
- 1975 附属歯科技工士学校設置
- 1993 山本肇名誉教授「レーザー照射による齶触予防その他歯科応用に関する研究」で学士院賞
- 2000 東北大学歯学研究科で、大学院重点化を実施:「考究心」「科学心」をもつ指導的・中核的人材の育成を理念として提唱
- 2002 東北大学歯学研究科で、「インターフェイス口腔健康科学」を提唱
- 2003 東北大学医学部附属病院と歯学部附属病院の組織上の統合
東北大学病院を開設
- 2004 わが国唯一の歯学研究科修士課程を設置
医歯学領域以外のキャリアの人材に口腔科学の専門教育を実施
- 2005 第1回インターフェイス口腔健康科学国際シンポジウム開催
- 2007 歯科病床、手術室の移転により東北大学病院附属歯科医療センターと改称
文部科学省「生体バイオマテリアル高機能インターフェイス科学事業」開始
- 2008 附属歯科医療センターにインプラント外来設置
- 2009 歯学部歯学研究科講義棟リニューアル完成
- 2010 日沼頼夫名誉教授、文化勲章受章
東北大学病院外来診療棟に歯科部門として附属歯科医療センターが移転・統合
- 2011 歯学イノベーションリエゾンセンターの設置
- 2012 歯学部・歯学研究科臨床研究棟リニューアル完成
- 2013 環境歯学研究センターの設置
歯科法医情報学分野の設置
- 2014 臨床疫学統計支援室の設置
- 2015 先端再生医学研究センターの設置
- 2017 先端フリーラジカル制御学共同研究講座設置
- 2021 附属歯科技工士学校閉校



MESSAGE

在学生からのメッセージ

歯学部 6年
齋藤 元さん

東北大学歯学部では、1年生の時に他学部の学生とともに教養科目を学びます。学部の枠を超えて様々な科目を学ぶことによって、幅広い知識や多様な視点を獲得することができます。

2年生から専門科目の講義が始まりますが、まずは全身のことから学び、そして徐々に口の中のことを学んでいきます。そのため、全身の健康と口の中の健康が、ど

のように関わっているのかをしっかりと学ぶことができます。

3、4年生では、より臨床的な科目の講義が始まります。また、模型を使った実習も始まり、歯科医師になるのだという実感が湧いてきます。

5年生から、いよいよ大学病院での臨床実習が始まります。実際の患者さんを相手に、先生の指導のもとで歯科医師としての態度や

技術を身につけていきます。

歯学部では6年間で学ぶべきことがたくさんありますが、同じ志を持った意識の高い仲間がいるからこそ、互いに切磋琢磨して乗り越えていけるのだと思います。そして、それが東北大学歯学部の最大の魅力だと思います。

歯科医師を目指すみなさん、私達と一緒に東北大学で歯学を学んでみませんか？

インターフェイス口腔健康科学とは、何か。

① 「インターフェイス口腔健康科学」の誕生

これまで歯学(歯科医学)として認識されてきた学問体系は、口腔疾患の治療論が主体であり、その病因論や根本となる基礎歯学はむしろ細分化され、体系化からはほど遠いものでした。2002年、東北大学大学院歯学研究科は、細分化されてしまった個々の専門分野を繋ぎ、口腔科学として体系化、すなわち再構築するために、「インターフェイス口腔健康科学」を提唱しました。口腔は、「歯・粘膜・骨・筋等の口腔組織

(生体)」、「口腔に寄生する微生物(パラサイト)」、「生体材料(バイオマテリアル)」の3つのシステムから成り立ち、この3システムに咬合力に代表される「生体応力(メカニカルストレス)」が加わるのが特徴です。「インターフェイス口腔健康科学」とは「健全な口腔機能は、システムとシステムの接するところ、すなわちインターフェイスが生物学的および生体力学的に調和することで成り立っており、う

蝕や歯周病、顎関節症などの口腔疾患はこれらシステム間インターフェイスの破綻によって生ずる「インターフェイス病」として捉えられる」という新たな概念に立脚するものです。

加えて、口腔そのものが、体内と外界とのインターフェイスであり、誤嚥性肺炎や消化管感染症等の口腔関連疾患もまたシステム間インターフェイスの破綻に起因すると理解されます。

② 「口腔のインターフェイス」から「学問のインターフェイス」、そして「社会のインターフェイス」へ

この概念は、口腔科学・歯科医療・口腔保健の領域を網羅するだけでなく、医学、工学、材料学、農学、薬学など多岐にわたる学問領域に通ずるものであり、「インターフェイス口腔健康科学」の実践によって歯学研究のさらなる推進、そして関連領域との学際的研究の活発化が可能となります。2007年には文部科学省から「生体-バイオマテリアル高機能インターフェイス科学推進事業」が認められ、東北大学金属材料研究所等とともに、インターフェイスの制御を目指した新しいバイオマテリアルの研究・開発と臨床応用に取り組みました。2012年からは「生物-非生物インテリジェントインターフェイスの創成事業」が後継として実施されました。これらは、既存の学問分野を接合し新しい学問を創成すると

いう「学問のインターフェイス」の具現化なのです。

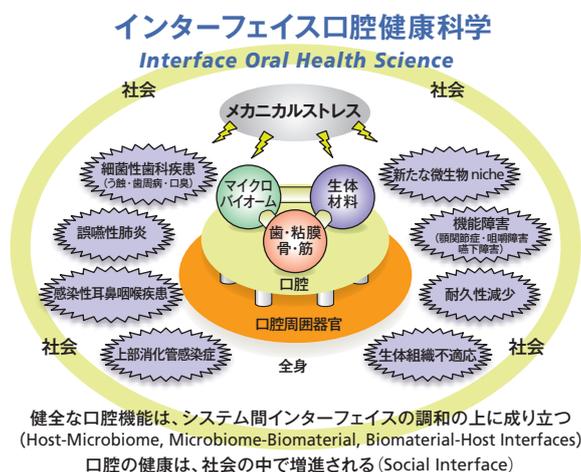
さらに、健全な口腔機能を地域社会や国際社会で実現するためには、地域社会や国際社会との双方向コミュニケーションが不可欠です。すなわち、地域住民の口腔健康状況を把握しそこにある問題点を解決し地域に還元すること、海外の口腔保健状況を把握し必要なことを導入するとともに、海外と連携し日本の研究成果を国際社会に還元することが必要なのです。

本研究科は、2011年に「歯学イノベーションリエゾンセンター」を設置、その中に「国際連携部門」と「マルチセクション地域連携部門」を置き、それぞれを海外との連携および地域との連携の要としました。国際連携部門を通して、米国(ハーバ

ード大学)、カナダ(プリティッシュコロンビア大学)、英国(キングスカレッジロンドン大学)、スウェーデン(ウメオ大学)、フィンランド(オウル大学)、アジア(北京大学、四川大学、上海交通大学、天津医科大学、大連市口腔医院、福建医科大学、香港大学、中国；ソウル大学、全南大学校、延世大学校、韓国；国立台湾大学、国立陽明大学、台湾；チュラロンコン大学、プリンスオブソクラ大学、コンケン大学、タイ；アイルランガ大学、インドネシア；VSデンタルカレッジ、インド；モンゴル国立医療科学大学、モンゴル)、オセアニア(シドニー大学、オーストラリア)の基幹校と国際学術提携を結んでいます。これら2つの部門は「地域社会・国際社会とのインターフェイス」として、大きな役割を果たしているのです。

③ 「インターフェイス口腔健康科学」の世界への発信

「インターフェイス口腔健康科学」の概念は、現在、次世代の歯学・口腔科学として国内外に広く認められています。2005年には仙台にて「第1回インターフェイス口腔健康科学国際シンポジウム(International Symposium for Interface Oral Health Science: IS-IOHS)」を開催し、国内外から多くの研究者が集まりました。その成果は英文書籍としてまとめられ世界に発信されています。以降、本シンポジウムは約2年毎に開催され、2016年には第6回目を迎えました。各シンポジウムでは、仙台の地に加え、ハーバード大学フォーサイス研究所(米国)、北京大学(中国)、ソウル大学(韓国)、シドニー大学(オーストラリア)等と共催で、海外でサテライトシンポジウムを開催しており、「インターフェイス口腔健康科学」はますますその広がりを見せています。その基盤は、歯学・口腔科学の独自性と他の学問領域との普遍性を持つ独創的な研究への希求、そこに集う研究教育者と大学院生の情熱、そして国際的・学際的・融合的研究への指向という、歯学研究科が持つ特質にあるのです。



(Curriculum)

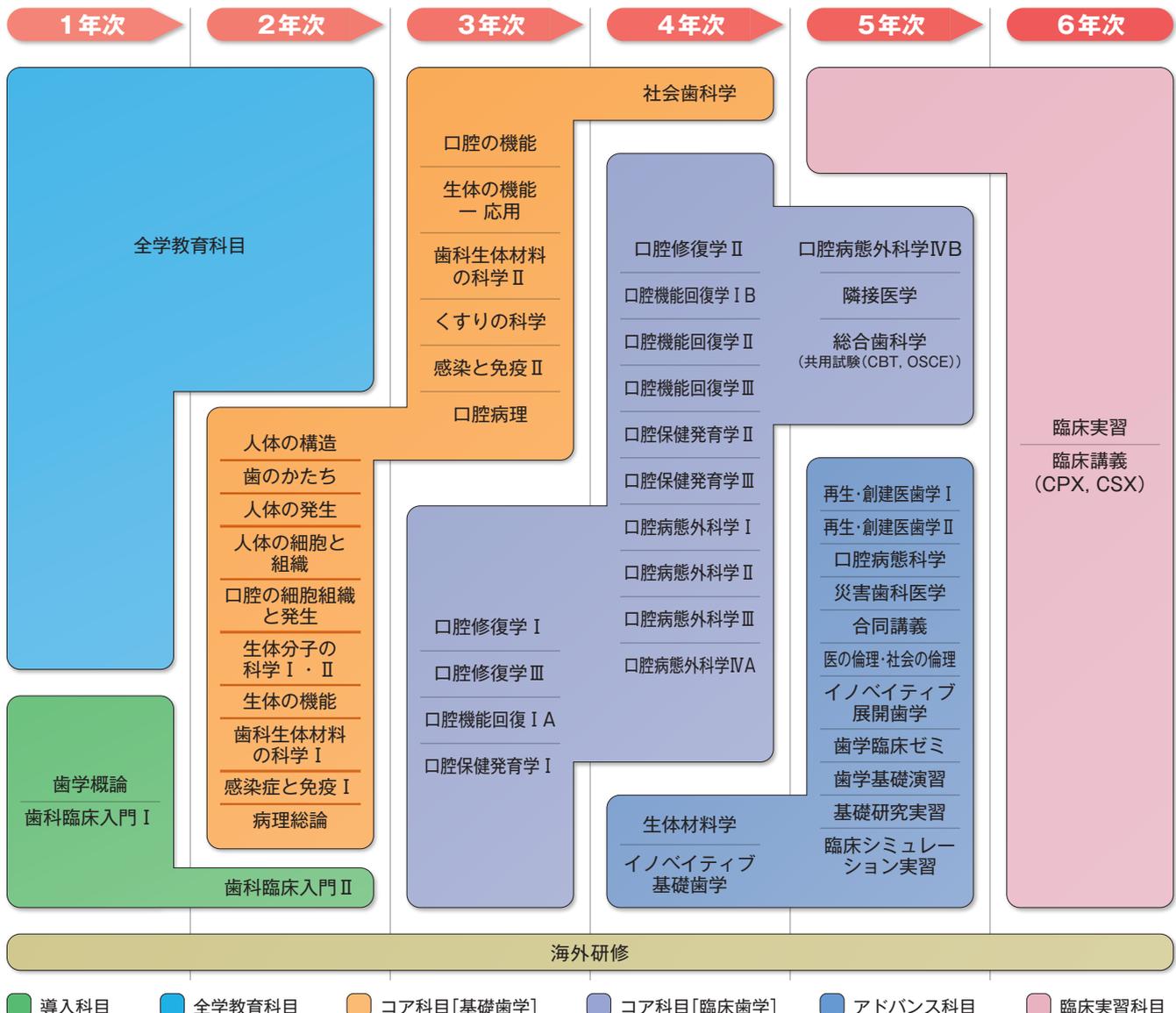
歯学部のカリキュラム

6年間で歯科医師として必要な知識と臨床技術を修得します。

本学部のカリキュラムは、早期に歯学・歯科臨床の概要を学び歯学生としての自覚を涵養する「導入科目」、歯科医師として必要となる基礎歯学と臨床歯学を学ぶ「コア科目」、東北大学歯学部独自の科目で大学院進学や高度専門職への準備となる「アドバンス科目」、そして歯科臨床の実体験を通して学ぶ「臨床実習科目」からなります。本カリキュラムは、臨床実習前に実施される全国共通の「共用試験」に対応しているばかりではなく、歯科医師国家試験にも充分対応しています。さらに、「アドバンス科目」には大学院を先取りした「プレ大学院科目」として「歯学基礎演習」と「基礎研究実習」が含まれており、歯学部卒業時に、既に大学院で学ぶ考え方も身に付くように工夫されています。



6年間のステップ



■ 導入科目
 ■ 全学教育科目
 ■ コア科目[基礎歯学]
 ■ コア科目[臨床歯学]
 ■ アドバンス科目
 ■ 臨床実習科目

※学部専門教育科目において、別途教材費用が必要になります。詳細は入学後にお知らせします。

1、2、3年次のカリキュラム

東北大学歯学部は、1、2年生で、広い視野と柔軟な思考力をもった歯科医師となるために、他の学部の学生と一緒に川内キャンパスで全学教育科目を学びます。「現代人、国際人として社会生活を送るうえで基盤となる知識と技能」、「人間形成の根幹となる、現代社会にふさわしい基本的教養や技法」、「専攻する専門分野の理解を助けるための幅広い学問分野に関する知識と技能」、「専攻分野を学ぶうえで基礎となる知識と技能」の4つ教養や知識、技能の養うことを目的と

して、【基盤科目類】、【先進科目類】、【言語科目類】、【学術基礎科目類】の4科目類から授業を受講します。一方、入学直後から最初の専門教育科目として、最新の歯学の概要にふれる「歯学概論」と歯科診療の現場を体験する「歯科臨床入門Ⅰ」との2つの導入科目を受講します。2年生からはコア科目と呼ばれる歯科医師となるために必須の専門教育科目が始まります。学生は、まず、解剖学、組織学、生理学、生化学、細菌学、免疫学、薬理学、病理学といった一般医学と同等の内容を含む

基礎系科目を学び、その上で、口腔解剖学、口腔組織発生学、口腔生理学、口腔生化学、口腔細菌学、歯科薬理学、口腔病理学、歯科生体材料学などの歯科医学教育独自の基礎系科目を履修します。さらに3年生からは、歯科保存学、予防歯科学、小児歯科学、矯正歯科学など、臨床系科目も始まります。基礎系、臨床系とも、講義に加えて自ら体験して学習する実習の割合が高いことが歯学部のコア科目授業の特徴です。

授業紹介

「人体の細胞と組織」 「口腔の細胞組織と発生」

組織学授業「人体の細胞と組織」では、人体において、多種多様な細胞が秩序よく配列さ

れて組織や臓器をつくり、さらに個体を構成することを学びます。口腔組織発生学授業「口腔の細胞組織と発生」では、顎、顔面および口腔と歯の組織の構成とでき方について、より詳しく学習します。どちらの授業でも、講義に加えて、顕微鏡で組織標本を観察する実習の時間があり、実際に自分の目で細胞や組織の特徴を捉え、所見をまとめる力を養います。

笹野泰之教授



「人体の構造」「歯のかたち」

2年次に人体、特に口腔領域の形について学びます。「人体の構造」では人体解剖の講義や実習により全身の仕組みや役割を、「歯のかたち」では実物の歯(抜去歯)の観察によりヒトの歯の形を理解します。これらの講義や実習によって、歯科医師として最も基礎的で必須の知識を身につけることができるとともに、人の生と死や医の倫理についても考えます。

佐藤匡講師



「くすりの科学」

3年次「くすりの科学」では、歯科で頻繁に用いられる化学療法薬、抗炎症薬、解熱鎮痛薬、消毒薬のみならず、末梢神経系・中枢神経系、循環器系、呼吸器系、消化器系に作用する薬物も含め、分子レベル、細胞レベル、個体レベルでの作用と作用機序を学びます。この科目を理解するには、2年次から学ぶ専門基礎科目の知識が必要です。

若森実教授



「歯科生体材料の科学」

歯は、自然治癒や再生が難しいため、歯科治療の多くは人工の材料を使用してかむ機能を回復させます。歯科生体材料学分野では、最先端の材料科学を駆使して歯科修復材料からインプラント材料まで新しい歯科生体材料の開発やこれらの材料の口腔内環境下における劣化と安全性などを研究しています。大学教育では、歯科の治療に用いられている歯科材料全域についての講義や実験を担当しています。

高田雄京准教授



「口腔修復学Ⅰ」

口腔修復学Ⅰでは、保存修復学の講義と実習を行います。講義は総論と各論に分かれ、総論では保存修復に必要な前処置、窩洞形態の一般法則、徐痛法、歯髄保護、仮封、窩洞形成法を学習します。各論では、審美修復(接着性コンポジットレジン修復、ポーセレンインレー、漂白法)と金属材料によるインレー修復法を習得します。実習では、基本的なレジン修復症例とメタルインレー症例をシミュレートし治療姿勢、器材の使用法、窩洞形成法、修復法を習得します。

齋藤正寛教授



(Curriculum)

4、5年次のカリキュラム

4、5年生は最も多く臨床科目を学ぶのみならず、これまでに習得した知識と技術を統合していく時期に当たります。4年生のコア科目では、歯科医師として診療をしているのに必要な臨床科目が最も多く開講されます。ここで学生は、口腔の様々な疾患のメカニズムやその診断・治療法を学びますが、各科目には講義だけではなく模型実習が多く含まれています。5年生は東北大学歯学部独自のアドバンス科目が展開される学年で、最先端の研究成果に基づいた新たな時代の「口の科学」に関する様々な講義が行

われると共に、これまでに学んだ知識・技術を統合していくために「歯学臨床ゼミ」、「合同講義」や「臨床シミュレーション実習」などが開講されます。特に平成25年度より新たな試みとして、統合型病態模型を用いた模型実習を「臨床シミュレーション実習」に導入しました。これにより、これまで各科目で行われていた実習に関する知識・技能を有機的に連携させるばかりでなく、総合的診断力や問題解決能力を涵養することを目指します。また、臨床実習に必要な知識・技術・態度が十分に備わっているかを確認するためのテストであるCBTとOSCEが5年生のそれぞれ8月と7月に実施されます。これは全国の歯学部学生に対して行われるものですが、これをパスしないと臨床実習に進むことはできません。またこれからの歯科医師は全身状態や疾患についての深い知識が要求されますので、5年生は「隣接医学」として内科学や耳鼻咽喉科学などを学ぶことになっています。さらに本学では、5年生の段階で歯学研究者としての基本態度を学ぶ「歯学基礎演習・基礎研究実習」を



実施し、大学院レベルでの研究を体験することができます。この授業では、学生一人ひとりが歯学部の基礎系分野を選択して研究室に所属し、約8ヶ月間に渡り、英語の学術論文の読解指導を受け、さらに研究の実践を学びます。この間、学生は教員にほとんどマンツーマンで接し、研究者や高度専門職業人として必要な「研究する心(リサーチマインド)」と「常に考える精神」を身につけます。この授業をきっかけに、臨床を科学する重要性を学ぶと共に多くの学生が研究に関心を抱き、卒業後に大学院進学を目指しています。



授業紹介



「口腔病態外科学Ⅱ」

口腔外科は、口腔および顎顔面領域の先天異常、後天性の欠損や損傷、口腔に現れるさまざまな疾患および全身疾患の一症状として口腔や顔面に異常をしめす疾患などの診断と治療および障害された形態と機能の外科的な回復を扱う学問であり、医科と歯科の境界に位置し、医科と歯科の双方の総合的な知識が必要となります。本講義では歯科医師として必要となる、これら口腔に現れる様々な疾患の種類、診断と治療法について最新の知見を教授します。

山内健介教授



「口腔保健発育学Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ」

口腔保健発育学では、2つの学年を通して、ひとの誕生から成人期までの口腔機能の健全な発育の誘導と支援について学びます。子どもの健全な口腔の育成は、生涯を通じた健康の基となり、「食べる」「話す」「笑う」の生きる力の源となりますので、子どもたちを医療者として慈しみ健康を支援できるようにしっかり学んで下さい。本講義は、予防歯科学分野、小児発達歯科学分野、顎口腔矯正学分野、障がい者歯科治療部が担当します。

小関健由教授



5、6年次のカリキュラム

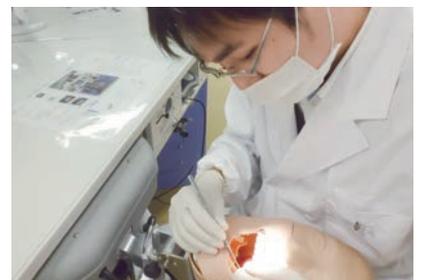
臨床実習は歯学部教育の最終課程と位置づけられています。5年生後半から6年生にかけての1年数ヶ月、実際に患者さんの治療を担当することにより、歯科医師としての知識・技術・態度についての総仕上げを行います。本学部の臨床実習は、建学以来「人間尊重」・「人間単位」の実習形態を追求し、その結果、「一口腔一単位」の臨床実習が行われてきました。「一口腔一単位」の意味するところは、単に個々の歯を治療の対象とするのではなく、人を対象として全人的見地から口の中

を診査、診断し、包括的医療を実践する診療形態です。患者さん中心の歯科医療、患者さんに対する畏敬や思いやり、倫理観など医療人として身につけるべき基本を学び、併せて自己研鑽すなわち「人間形成」に努めるという教育理念がここに 있습니다。この形態は東北大学歯学部独自のものであり、他大学からも高い評価を受け、現在では多くの歯学部・歯科大学で取り入れられています。

臨床実習では、約100名の教員（歯科医師及び医師）が実際の指導に当たっ



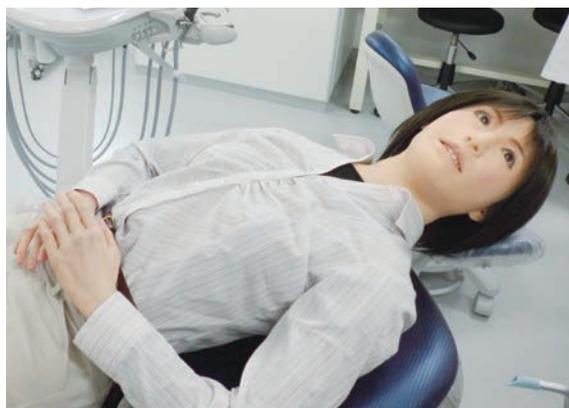
ています。学生数に比べて教員数が多いことも本学部の特徴であり、学生にとっては恵まれた環境のなかで実習を受けることができます。



COLUMN

歯科実習用 人型ロボット SIMROID® (シムロイド)

表情豊かで、おしゃべりなロボットです。なかなかの美人です。痛みや不快さを与えると、人と同じ反応をします。しっかりとした技術を練習しましょう。国立大学では唯一です。





東北大学 病院

Tohoku University Hospital



【東北大学病院の紹介】

東北大学病院は1817年に創設された仙台藩医学校を根源とし、1915年に東北帝国大学医科大学附属病院として開設された、歴史と伝統のある病院です。入院する患者さんのベッド数は全国の国立大学病院でトップクラスの規模を誇っており、患者さんは東北地方のみならず、全国さらには海外からも訪れます。当院は国から「特定機能病院」に指定されており、高度な先進医療の提供だけでなく、高度な医療技術の開発や研修を使命としています。また、全国で初めて承認された「臨床研究中核病院」の一つでもあり、「患者さんに優しい医療と先進医療との調和を目指した病院」を基本理念に、最先端の医療技術の研究開発を推進しています。

このように由緒ある先進的な総合病院のなかで、歯科診療部門は11の専門診療科、6つの特殊診療部と3つの高度治療センターで構成されています。歯科は外来棟で3つのフロアにまたがっており、約140台の治療用チェアを有しています。また、病棟には歯科で手術を受けて入院する患者さんのベッドが約30床あります。歯科診療部門には約260名の歯科医師が働いており、歯科衛生士、歯科技工士、医師、看護師、放射線技師、臨床検査技師、言語聴覚士、管理栄養士など、たくさんの職種と協働してチーム医療を行っています。このような体制のもと、歯科診療部門では1日あたり約600名の患者さんの診療を行っています。

当院は、全国的に見ても「他職種連携」と「医科歯科連携」が高いレベルで進んでいる大学病院です。医科と歯科が一つの病院建物のなかで緊密に連携しているため、患者さんに高度で総合的な医療を提供できる点が当院の特徴と言えます。日本は超高齢社会を迎え、歯科を受診する患者さんが全身の健康に問題を抱えている場合も増えてきました。口の病気の原因の多くは口そのものがありますが、全身の病気が原因となって口の病気として現れる場合も少なくありません。また、口の病気が歯を失うことで、全身の病気を引き起こす場合もあります。さらに、最近の研究から、医科での手術の前後に口の清掃や歯科治療を行うことで、手術後の合併症が軽減することがわかってきました。つまり、歯科がますます医科と連携して患者さんの全身の健康回復や生活の質の維持・向上に貢献する時代となっているのです。

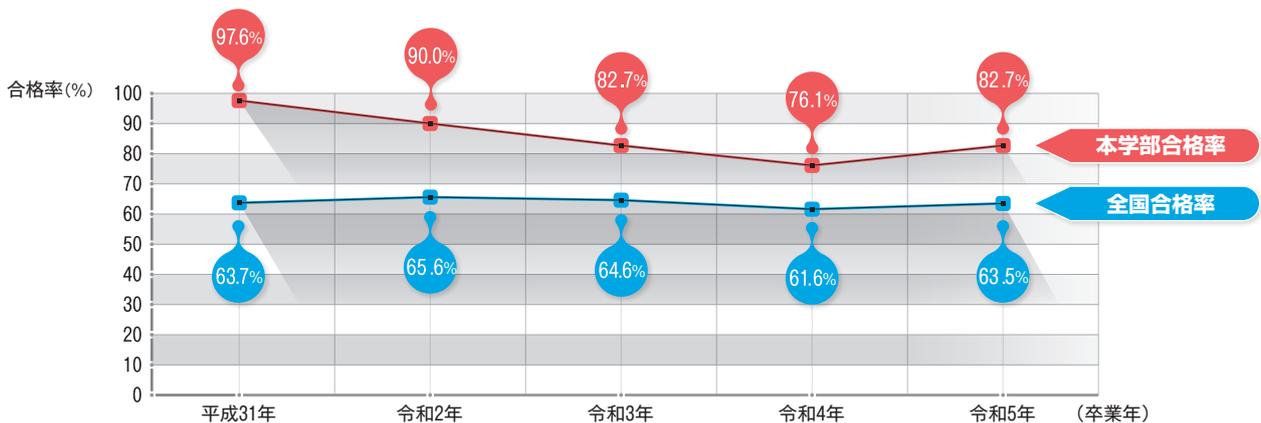
東北大学歯学部は、5年次から当院の臨床現場で、スチューデントデンティストとして歯科医師に求められる知識・技術・態度を学びます。社会の要請に応じる歯科医師になるためにも、他職種と協働し、緊密な医科歯科連携を学ぶことはとても重要です。私たちは、学生達が医療チームの一員として患者さんから多くを学び、地域のみならず世界の歯科医療に貢献し、歯科医学の発展を牽引するリーダーとなることを願いながら、臨床教育に取り組んでいます。



東北大学病院 総括副院長
歯科診療部門長

江草 宏 教授
(咬合修復科)

歯科医師国家試験合格状況



卒業後の進路

卒業後は、大学病院等の研修医を経て、大学院進学、開業医勤務等、ほぼ全員が歯学研究または歯科医療に携わっています。

東北大学歯学部
(6年間)

歯科医師免許取得

歯科医師
臨床研修
(必修1年間)
東北大学病院
(2プログラム)
東北大学外
臨床研修施設

東北大学大学院
歯学研究科
博士課程
(大学院進学、4年間)

* 学会認定専門医取得
博士(歯学)取得

* 多くの場合、学会認定専門医は数年間、指導医の元で研修することが必要となります。大学院生として指導医の元に就学すると、専門医取得が容易となります。



歯学部4年 岩田 紗也加さん

歯学を学びながら、 充実した大学生活を送りましょう！

1年次の全学教育科目では、学部の枠にとらわれず、様々な科目を学ぶことができます。私の入学時は、コロナ禍でオンライン授業がメインでしたが、対面授業が可能になった今、他学部との交流も増え、より充実した学びを得ることができると思います。2年次からは、徐々に専門科目も入り、口腔領域に限定せず、基礎科目として全身の勉強をすることができるため、とても興味深いです。3年次以降は、臨床科目を中心に、実習などを通して、より実践に

近い学びを得ることができません。将来の歯科医師像もイメージしやすくなると思います。

私は、歯学部硬式テニス部、ゴルフ部、スキー部に所属しており、やや所属数は周りより多めですが、普段の部活やイベントなどで学生生活を大いに楽しめている分、学業へのモチベーションも維持することができます。実際に兼部している学生は多く、興味のある部活に積極的に参加し、学部内の上下の関係も大切にしてほしいです。

また、歯学部は素敵な仲間

や教員、環境に恵まれていると思います。特にテスト期間は仲間と切磋琢磨しながら学業に打ち込むことができ、質問をするととても丁寧に教えてくださる先生方もたくさんいます。興味があれば留学も可能であり、学びの環境はとても整っていると思います。

歯学部では、学業に励むのはもちろんのこと、部活やバイトなど大学生活でしか味わうことのできない思い出をたくさん作りながら、充実したキャンパスライフを送ることができます。

Schedule
スケジュール



歯学部 サークル 紹介

大学のサークルの他に、
歯学部学生だけで構成される
サークルもあります。



⑩ 弓道部



⑨ 軟式
庭球部

⑪ サッカー部



⑫ 硬式庭球部



⑬ 準硬式
野球部



⑭ ゴルフ部



歯学部4年 村上 和也さん

同じ志を持つ仲間と、 実りある学生生活が送れます。

1年生では、主に全学教育科目を履修します。幅広い分野の中から、大学ならではの専門的な講義が受けられる、貴重な機会となります。2年生では専門科目の講義が始まってきます。ここでの基礎系科目では、全身の基本的な機能について学べ、後の歯に関する勉強の土台となります。3年生では臨床科目の講義が増えてきます。特にこの学年から、模型を使った歯科治療の実習が行われます。座

学とはまた違った大変さがありますが、実際に手を動かして学べるためとても楽しく、歯科医師を目指す上でのモチベーションとなります。

サークル活動では、弓道部に所属しています。私にとってサークルは癒しの場であり、日々の稽古の他に、芋煮などのイベントが毎年の楽しみです。またここ数年は参加が難しかった大会へも出場し、活躍したいです。

歯学部では学ぶことがたく

さんありますが、その分やりがいも多いと感じています。キャンパス内の図書館は必要な資料が十分に揃い、勉強に集中できる環境が整っています。また歯学部は少人数であるので、1つのクラスのような雰囲気がかつて来ているのも魅力だと思います。皆が一丸となり歯科医師という夢に向かって進める、充実した学生生活を一緒に送ってみませんか。

Schedule
スケジュール



④水泳部



④卓球部



④バスケットボール部



④軽音部

④陸上部



④剣道部



④バレーボール部



④バドミントン部



④歯科医療研究会

ホンネで語る。 卒業生座談会



東北大歯学部ってどんなところだろう。6年間学んだ後、医員として臨床や研究に励む先輩に、歯学部での日々や将来の目標を語ってもらいました。

歯学を志したそれぞれの理由

村上 僕はもともと医療系に興味がありました。オープンキャンパスで先輩の話を聞いたり実習室で器具に触れたりするうちに歯学部に魅力を感じ、志望しました。

藤村 人を救う医療の道を志す一方で、ものづくりも大好きで……「歯学部なら両方叶うのでは！」と。宮城に生まれ育ったこともあり東北大には小学生の頃から憧れていました。

西方 高校時代、歯科医である父に治療してもらったときに「歯医者ってカッコいい」と感じて、実はそれまで和菓子職人に憧れていたけれど急遽進路を歯学部に（笑）。塾の先生に「視野を広くするには総合大学がいい」と言われて納得し、東北大を志望しました。

小峰 研究者になりたくて初めは工学部志望。途中で歯科医にも関心が湧いて、父に相談したところ「国家資格を持っていれば研究に説得力が出る」と助言され歯学部を目指しました。

息づく「研究第一主義」の精神

村上 授業で特に印象的だったのは解剖学実習。提供いただいたご献体で、自分の手を動かし目で見て人体の構造を学びます。僕にとって、医療従事者になるという自覚と覚悟がはっきりと生まれた日になりました。

西方 そうそう、私にとっても忘れられない実習。歯学部だけど歯だけではなく、体全体の構造や反応を幅広く学べるのは勉強になります。

藤村 5年の基礎研究実習では、希望する研究科で教授のサポートを受けながらとことん研究ができ、最終的には学会発表の機会まで得ました。求めれば、学生でもこれほどの経験ができる。東北大は「研究第一主義」を掲げていて、それが単なる掛け声でなく大学全体に浸透していることに感激しました。

小峰 1、2年生で全学部の講義を受講できる「全学教育」もいい。幅広く学べるうえに、学部を超えた友だちができる貴重な機会だよ。

充実の留学プログラム

西方 私は1年の春休みに1カ月間の

語学留学に参加。ホームステイしながらイギリスのヨーク大学に通いました。英語で生活した経験も貴重ですが、そこで仲良くなった他学部の友だちは一生の宝物です。総合大学に入ってよかった！

藤村 西方さんが参加した全学部対象の他に、歯学部の留学プログラムもあります。歯科に求められるニーズは国や文化によって異なるので、学生時代に海外の歯科研究や治療を実際に見るのは必ずいい経験になるよね。

課外活動で貴重な経験と人脈を得る

西方 部活動なら村上くんだ！

藤村 水泳の全日本歯学生大会（オールデンタル）で日本一！すごい！

村上（照れながら）水泳はずっとやってきて……背泳の個人種目や団体で一位になりました。試験直前に大会があったり一人暮らしで家事や経済面が大変



だったりしたけど、そんな苦勞もいい思い出。大学でも水泳を続けてよかったです。

小峰 僕は“楽しむ系”の硬式テニス部でした。部の歴史が長いからOBに歯科医師も多く、その縁で今の診療科に進みました。部活では、講義や研究とは違う形で人脈が生まれるのもいいね。



西方 私は大学祭のスタッフを。口腔微生物の教室で、参加した高校生に唾液に含まれる細菌を見る体験してもらいました。高校生にいかに分かりやすく伝えるか、みんなでアイデアを出しあって面白かったな。

都会らしさと自然が調和する 杜の都

藤村 私は地元出身だけど、他県から来ると仙台の印象ってどうなのかな。

小峰 都会らしさと自然のバランスが絶妙にいい。僕はウィンタースポーツが好きで、雪山まで車で1時間という距離感がすごく気に入ってます。

村上 交通の便がよくて動きやすいですね。都会だけど街なかに緑が多くて、さすが「杜の都」だなあと。定禅寺通りを散歩するのが気持ちいい。

西方 季節ごとのお祭りがすごく楽しい！初めて見た青葉まつりの活気や、七夕飾りの優雅さにほれほれして、一生住みたいくらい！

藤村 バイトもいろいろ選べるよ。私は歯科助手に楽天イーグルスの球場スタッフに、神社の巫女に、ブライダル関係も。自分とはまったく違うタイプの人と出会えるのがバイトの面白さだし、社会経験にもなりました。

臨床と研究と…… 自己と向き合い進路を決断

西方 将来は、高い専門性を持って患者に向き合う歯科医師になりたいです。もともとは学部を卒業したら歯科医師になるつもりだったけど、研修医時代にどうしても治らない難しいケー

スに出合ったことで、大学に残ろうと考えました。大学院で知識を広げ研究を深め、幅広く高度な治療を提供できる歯科医師になりたいです。

藤村 私は、歯の再生技術をテーマに研究職を目指しています。研究者は目の前に患者はいないけれど、研究の成果で膨大な数の患者を救う礎を作ることができる。初めに志した「人を救う仕事」を研究者として遂げたいです。現在の臨床経験はその強みにもなるはず。

小峰 僕は「何でも診られる歯科医師」になり、一人の患者にトータルで責任を持つ診療を提供したい。日本歯科専門医機構が認定する専門医の資格を取り、歯科業界で一目置かれる歯科医になりたいです。

村上 一通り歯科を学んでもっとも関心を持ったのが矯正歯科でした。一般的には歯並びを整えて見た目を美しくするイメージですが、それだけでなく、かみ合わせや歯の位置、形状などを正しくすることで生活の質(QOL)を上げることができる。一人一人の患者に寄り添いながら関わっていきたいです。

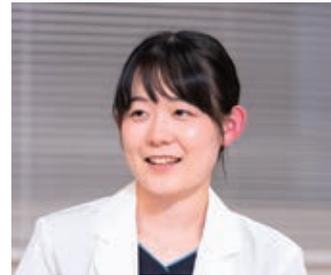
学部を超えた学び、幅広い進路、 やる気に応えてくれる環境

村上 受験生にはとにかく「あきらめないで」と伝えたい。入試の得点に関

わらず入学したらみんな同じスタート。重要なのは「入ってから何を成すか」で、将来は自分で決められます。

小峰 東北大はやりたいことが叶う大学。自分主体で動けば存分に応えてくれるフィールドがあります。意志を持って入ってきてほしい！

藤村 歯科医師といえば街の歯医者さんのイメージかもしれないけど、実は大病院での勤務や研究職、企業の開発職、行政など幅広い進路があります。受験勉強はつらいときもありますが、私は「精いっぱい一日を入試当日まで続けよう」と自分を励ましました。「これ以上なく頑張った」と思えば入試本番も緊張しないし、後悔もないはず。



西方 東北大では学部の垣根を超えた研究も盛んです。また大学病院は医科歯科連携が進んでいて、医科の先生が歯科に非常に理解がある。これは本当に恵まれた環境です。私は浪人して受験、さらに補欠合格という「逆転満塁ホームラン合格」でした。だからこそ受験生の皆さんには、最後の1秒まであきらめずに答案を書いてほしい。東北大には素晴らしい環境と先生と先輩が待っている、それは間違いないです！



村上 光 さん

顎口腔矯正学
矯正歯科医員
博士課程1年
岩手県出身

西方美紗実 さん

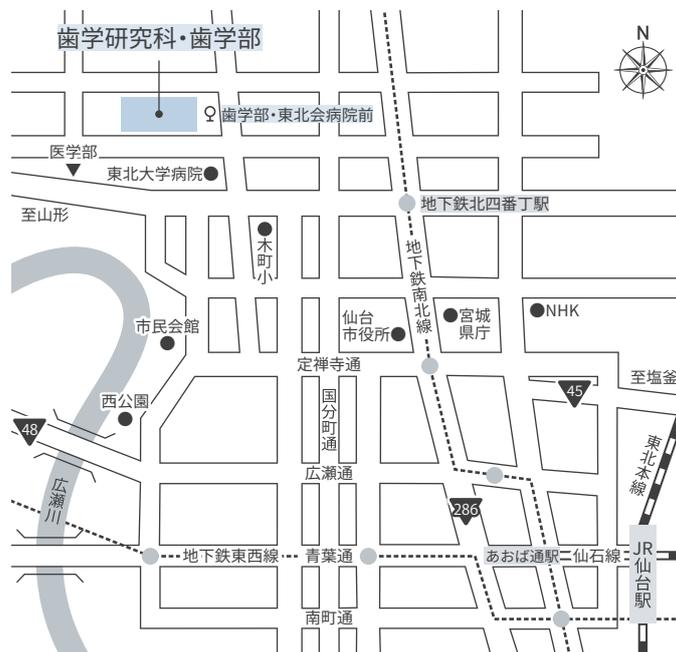
歯科保存学
歯内療法科医員
博士課程1年
千葉県出身

藤村葉奈 さん

分子・再生歯科補綴学
咬合修復科医員
博士課程1年
宮城県出身

小峰英也 さん

口腔システム補綴学
咬合回復科医員
博士課程1年
栃木県出身



● ACCESS / 仙台駅からの交通手段

仙台市営バスご利用の場合

仙台駅西口バスターミナル

⑨番乗り場から

「東北大学病院経由 子平町 → 北山循環」乗車、
「歯学部・東北会病院前」下車(約20分)、徒歩1分

⑬番乗り場から

「山手町経由 桜ヶ丘七丁目」乗車、
「歯学部・東北会病院前」下車(約20分)、徒歩1分

⑭番乗り場から

「北山トンネル・中山経由 北中山・西中山」乗車、
「歯学部・東北会病院前」下車(約20分)、徒歩1分

⑩、⑮番乗り場から

「大学病院経由」乗車、
「大学病院前」下車(約20分)、徒歩5分

地下鉄ご利用の場合

「泉中央行き」に乗車、「北四番丁駅」で下車、
北口2番出口より八幡町方面へ徒歩約15分

● 東北大学大学院歯学研究科・歯学部

〒980-8575 仙台市青葉区星陵町4番1号

TEL: 022-717-8248 FAX: 022-717-8279

H P: <https://www.dent.tohoku.ac.jp/>

E-mail: den-kyom@grp.tohoku.ac.jp